

ブラジル金融政策（2021年5月）

市場予想通り0.75%ポイントの利上げ、追加利上げも示唆

2021年5月6日

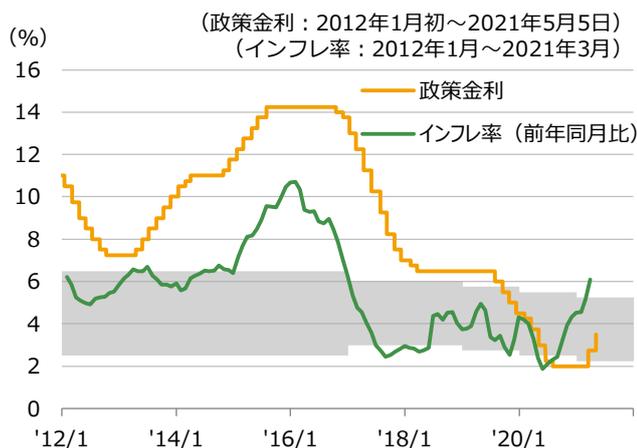
次回も0.75%ポイントの利上げ決定を示唆

ブラジル中央銀行は5月5日（現地）、市場予想通り政策金利を2.75%から3.50%へ0.75%ポイント引き上げることと全会一致で決定したと発表しました。同行は、前回3月の金融政策決定会合で0.75%ポイントの利上げを決定した際、インフレ見通しやそのリスクバランスに大きな変化がなければ、今回も同じ幅の利上げを決定すると示唆していましたが、その通りの結果となりました。

声明文では、経済・物価の両面から利上げに至った背景が記されています。新型コロナウイルスの感染第2波は予想よりも拡大したが、最近の経済指標は想定よりも底堅く、経済は徐々に正常化に向かうだろうと、前回に比べてやや楽観的な見通しが示されました。一方、ブラジル中央銀行が実施しているエコノミスト調査に基づく今年のインフレ率予想が直近で5.0%（前回会合時点では4.6%）となるなど、各種インフレ指標が目標レンジの上限近くまで上昇していることに懸念が示されました。こうした状況下、インフレ見通しやそのリスクバランス、入手可能な情報を考慮して利上げを決定したと説明されています。

更に、ブラジル中央銀行は次回6月の金融政策決定会合でも今回と同じ幅の利上げを決定すると示唆しています。部分的な金融政策正常化の方針は確約されたものではないと同行は強調していますが、インフレ動向などに鑑みれば、当面は利上げサイクルが継続すると見込まれます。そのため通貨に関しては、同行の積極的な利上げ姿勢が引き続き下支え要因になると考えられます。

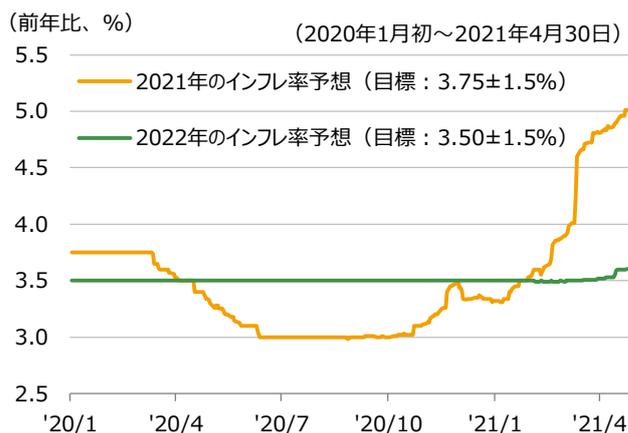
政策金利とインフレ率



※陰影部はブラジル中央銀行によるインフレ目標のレンジ

(出所) ブルームバーグ

通年のインフレ率予想の変化



※予想はブラジル中央銀行によるエコノミスト調査に基づく

(出所) ブラジル中央銀行

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。